

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)		観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・8月はピークのため、良くなっている。
		コンビニ(経営者)	お客様の様子	・今月は良くなっている。6～7月は前年と比べて暑くならず、コンビニ業界としては少し厳しかった。その反動か、暑さが続いた8月は、単月で見ると、上向いている。
		家電量販店(店長)	来客数の動き	・消費税増税の動きにより、やや良くなっている。
		乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・新車、中古車の販売量が、7～8月と右肩上がりに良くなっている。中古車はかなりの販売台数が売れている。それに伴い、車検、一般修理の入庫率、台数も右肩上がりに増えている。理由は分からないが、ここ1～2か月は販売量、修理関係の入庫が増え、売上もそこそこ上がっている。中古車は金額的には大したことはないが、修理関係が多いので、収益内容もかなり良くなっている。
		住関連専門店 (店長)	販売量の動き	・8月は気温上昇に伴い、夏物商材が上向いている。また、増税前特需が予想される。
		都市型ホテル (副支配人)	販売量の動き	・8月は最繁忙月である。宿泊は単価政策が奏功し、室単価、月間売上が過去最高を記録する見込みである。一方、宴会はお盆月ということもあり、需要が少なく苦戦している。全体では、やや良いといったところである。
		旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・夏休み明けだが、動きが出ている。
		設計事務所(所長)	競争相手の様子	・当社も含め同業者や取引先の話聞いても、比較的忙しいところが多い。
		商店街(代表者)	来客数の動き	・最近、近隣に道の駅がオープンし、珍しいので「話の種に見物」と、たくさんの人出でにぎわっている。一方、商店街は寂しい状況だが、固定客は変わらずに来店してくれている。
		一般小売店[精肉] (経営者)	お客様の様子	・月初から猛暑の連続で、各地で行われた納涼祭等の出足も悪い。長期の夏休みも、暑さで余り人出が見受けられない。
		百貨店(営業担当)	販売量の動き	・一部の宝飾品等、高額品に動きはあるものの、それ以外では消費税増税前の駆け込み需要は見受けられない。依然として衣料品の動きも鈍く、厳しい状況に変化はない。
		百貨店(営業担当)	来客数の動き	・当地では猛暑日をはるかに上回る高温の日が続き、来客数に影響が出ている。客単価、商品単価は微増しているものの、そもそもの客数が減っており、3か月前と比べて売上に大きな変化は見られない。
		百貨店(役員)	来客数の動き	・売上は前年を上回っているが、想定したほどの駆け込み需要は見られない。
		百貨店(店長)	来客数の動き	・退店等の影響もあるものの、来客数は既存店の前年比97%と低調である。前月の長雨から猛暑となり、生鮮食料品は価格の変動幅が大きい。
		スーパー(商品部担当)	来客数の動き	・天候不順で集客にでこぼこはあるが、トータル的には前年を維持できている状態が続いている。
		コンビニ(経営者)	販売量の動き	・前年と比べて今月は、売上100.5%、来客数98%、単価102%で推移している。月前半の猛暑で売上が伸びたものの、お盆以降、夏物が売れず不良在庫として残りそうなので、早めに処分セールを行っている。
	衣料品専門店 (販売担当)	来客数の動き	・当店は婦人衣料の店だが、8月はちょうど切替えの時期で、かなり客の出も悪い。その上猛暑も重なり、客数が減って売上が相当落ち込んでいる。	
	乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・地域の自動車メーカーは前年のリコール問題などで苦境にあったが、安全性能の向上や人間性を大切に考えるコマーシャル等によって、国内販売も前年に近づきつつある。また、輸出も相変わらず好調を維持している。地域から歓迎され、購買意欲も向上している。	
	自動車備品販売店 (経営者)	販売量の動き	・3か月前と比べても、特に目立った良さや悪さは出ていない。そう考えると、お盆の月なので少しは例年より良い感じがしなくもないが、特に目立った良さもない。	

住関連専門店 (仕入担当)	来客数の動き	・ゴールデンウィークもそうだったが、長期連休は実用品の消費にマイナスの影響を与える。8月もお盆休みが長く、後半の来客数は伸び悩んでいる。
タクシー(経営者)	お客様の様子	・夜の動きは良くないものの、昼間の動きが良かったので、前年同月比3%の増収である。
通信会社(経営者)	販売量の動き	・現行事業の販売量増加は見込めないため、他業種との協業を推進中である。現業のデザイン事業も、中心業務をコンサルティングに移行中である。
通信会社(営業担当)	販売量の動き	・一部地域で増税前の駆け込み需要が生じているものの、全体では大きな変化は感じられない。
通信会社(同長)	販売量の動き	・販売動向やサービス解約数に変化はない。今後の消費税率の引上げに伴い、毎月の支払料金への反応が変わってくる可能性はある。電気料金等、これまで見直しをしていなかった人も見直しを検討するなど、変化があるのではないかと。
競輪場(職員)	お客様の様子	・入場者数、購買単価共に、ほぼ変わらずに推移している。
住宅販売会社(経営者)	販売量の動き	・仕入案件が少ないため、売物件も販売できない。商材の動きが鈍い状態が続いている。
住宅販売会社(経営者)	お客様の様子	・ここへ来て、店舗、アパート、マンション等の引き合いが本当に少なくなり、今は停滞状態である。土地も安い物件には引き合いがちらほらあるものの、一般的な価格の物件についての引き合いはない。
一般小売店[青果](店長)	お客様の様子	・店頭に来客数は減少しているが、納品している取引先食品店等への仕入れはかなり減少している。
コンビニ(経営者)	販売量の動き	・1人当たりの買上点数、金額が、少なくなっている。
その他専門店[靴小売業](経営者)	お客様の様子	・小売業だが客の動向がつかみにくくなっている。天候が不安定で、「計画している外出が予定どおりいかない」と客がよく話している。また、心理的に貿易問題や消費税増税に対する先行き不安があるようで、自分にマッチしたものは積極的に購入するが、納得しないと買物をしない傾向にある。
その他専門店[燃料](従業員)	販売量の動き	・使用量が減少し、受注も減少している。
一般レストラン(経営者)	単価の動き	・平均客単価が下がったまま回復しない。
一般レストラン(経営者)	それ以外	・天候や長期休みの影響でやや下向きだが、例年並みの8月といった感じである。消費税増税前の駆け込みも今のところ見受けられないが、買い控えまではないとみている。
一般レストラン[居酒屋](経営者)	来客数の動き	・予約以外のフリー客が減少傾向にあり、やや悪くなっている。
その他飲食[給食・レストラン](総務)	お客様の様子	・景気変動の直接の影響は、現時点ではまだ出ていないものの、海外と取引のあるクライアントでは、受注減の影響が出始めているところもあり、取引条件変更の打診や食数の減少が懸念される。
都市型ホテル(営業)	来客数の動き	・宿泊は価格競争になっているものの、各種サービスの充実により持ち直し、目標達成はできている。しかし、宴会は大幅に目標未達で厳しい。トータルで考えると、やや悪くなっている。
旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・来客数が前年より減少しており、単価も上がらない。
旅行代理店(所長)	来客数の動き	・長雨等の天候不順が、旅行に出掛けようという気持ちまで、弱らせてしまったのではないかと。
タクシー(役員)	お客様の様子	・労働者不足である。
通信会社(総務担当)	販売量の動き	・販売方式を変更した6月を境に、確実に販売台数が減少している。
テーマパーク(職員)	来客数の動き	・夏の繁忙期であるお盆期間に台風10号が上陸し、影響を受け、その後も不安定な天候が続いたため、やや悪くなっている。
ゴルフ場(総務担当)	来客数の動き	・天候に左右されやすい業種のため、梅雨が長引き来場者減となっていた。8月は台風による長雨はあったものの、おおむね順調な来場数で、計画3700名のところ、実績見込みは3638名である。

		その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	単価の動き	・来店客の財布のひもが固い。故障予防の整備をちゅうちょしたり、より安価な物を求める傾向が増えている。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・週60時間労働で有給休暇がないと過労死レベルなのか。それなら個人事業主の私たちはとっくに死んでいる。趣味や道楽で仕事をしているわけではない。現在の不景気では、料金を上げたくても上げられない。政治家目線で、最低賃金を決めてほしくはない。
企業 動向 関連 (北関東)		-	-	-
		輸送用機械器具 製造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・北米向け輸出が92か月連続して前年同月比を超えている。今後も伸びていく見込みである。
		化学工業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・休みが多かった影響なのか、主力製品が大きく落ち込んでいる。他の好調な部門がカバーしている状態で、変わらない。
		金属製品製造業 （経営者）	受注量や販売量 の動き	・お盆休みがあり、1か月の売上は5%ほど悪かったが、1日当たりだと悪くはない。
		輸送用機械器具 製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先、受注量、販売量の動きが少し停滞しているが、余り変わらない。
		建設業（開発担当）	受注量や販売量 の動き	・公共工事主体で売上の95%を占めている建設業を営んでいる。前政権時は「コンクリートから人へ」のキャッチフレーズで、大変であったが、現政権誕生後、公共工事は順調に推移している。ただし、今期の公共工事は過去に経験したことのないほど厳しい。地方業者に一番影響のある市町村発注が前年比20%減だからで、今後の発注に期待をかけるだけである。決算は前期の発注となるので、何とかしのげるのではないか。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・8月に入り、天候が良く暑い日も続き、本来動く予定の夏物家電、エアコン、サーキュレーター、流行りの携帯扇風機などが動いている。また、冷蔵庫、洗濯機などの大物家電も増税前ということで、通常よりも荷動きが良い状況である。輸送量は前年比15%増である。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・引き続き、中小の製造業、建設業等の受注、販売は落ち着いている。販売、飲食業などは例年並みの業況である。
		社会保険労務士	取引先の様子	・輸出関連の製造業が、悪いなりに落ち着いてきている。小売関連もそこそこである。
		その他サービス 業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量 の動き	・特段の変化はみられない。
		一般機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・今月に入ってから全体的な仕事量が大幅に落ち込み、受注は前年同月比3割減の状況である。
		電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・7～9月は前年同月比10%ぐらいのダウンである。今後2～3か月もやや低空飛行になる。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量 の動き	・例年に比べ、明らかに受注量が少ない。
		不動産業（管理担当）	受注量や販売量 の動き	・設備修繕等のうち少額で済む物以外は、増税があるからと、駆け込みで実施するところはほとんどない。他の修繕や維持管理と合わせて実施し、支出を減らしたいという相談が多い。当社も受注件数が減り、利益も減ってしまう。
		広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・物販関係の売上減少が顕著である。増税の影響が相当出ている。
		×	電気機械器具製 造業（経営者）	取引先の様子
雇用 関連 (北関東)		-	-	-
		人材派遣会社 （経営者）	求人数の動き	・暑さが厳しく、夏物衣料の品ぞろえはかなり多い。スーパーでは野菜なども大分出そろっている。夏休み期間中ということもあり、旧盆ギフト商材も多く、販売員、配送スタッフの募集は活発さを見せている。また、夏前に始まっていた増改築、新築等住宅関連の仕事も目立っている。
	人材派遣会社 （社員）	雇用形態の様子	・企業側が従業員の残業時間を抑制する傾向が顕著である。従業員が対応しきれない業務は、派遣社員を活用したいという需要が一定割合ある。	

	人材派遣会社 (管理担当)	採用者数の動き	・派遣社員の採用数に変化はなく、低い状態で安定している。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数及び新規求職者の直近3か月や前年同月の3か月間を見ても、ほとんど変わらない。産業別で見ると、宿泊、飲食サービス業で増加となっている。飲食業は深夜までの就労時間が多く、未充足求人となっており更新求人が多かった。また、高齢等による退職で1年ぶりに受理した求人等もあり、増加となっている。
	学校[専門学校] (副校長)	求人数の動き	・ここ数年、求人がある職種は常に変わらない。特に、運輸や建築関係企業の学校訪問が多く、求職者のより好みが見えてくる。また、常にミスマッチな仕事を希望する求職者も多い。
	職業安定所(職員)	周辺企業の様子	・製造業を中心とする業種で、求人数は余り増加しておらず、どちらかといえば減少傾向にある。また、一部の業種では親会社からの受注減により休業を開始した等、余り良い話もなく、景気のピークは過ぎたと感じている。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・企業からの新規求人申込みは前年同月比で減少している。特に、建設業、卸売業、小売業は大きく落ち込んでいる。
	x	*	*